

住みたいまちナンバーワンを目指す!!

小川一馬 7つの約束

巨額の『ハコモノ』よりも、市民の笑顔を大切に!!

成東病院の移転を阻止!

巨額の税金を投入しての移転・建替えよりも、施設を補強改修し有効活用します。医師や看護師を早急に確保し救急患者の受入れを。100億円は市民生活の向上のために! 『ハコモノ病院』より障がい者・福祉の充実や地域経済の活性化に役立てます。

全力で農業振興!

市の基幹産業である農業・畜産業の振興のため、ブランド化や6次産業化などを強力にバックアップするシステムを構築します。

(国・県の復興事業)

避難タワーの建設
避難道路の整備
木戸川の護岸整備

企業誘致で雇用・経済活性化!

市内2か所のインターチェンジや出光跡地を活用、企業を誘致し雇用の創出と地域経済活性化を推し進めます。

市民が望むインフラ整備!

計画途中で放置されている道路や橋の工事を進めるとともに国・県との連携を強力に推進していきます。

防災と災害復興!

防災・災害復興を推し進め、市民の命と財産を守ります。海岸と河口周辺の整備により安心と安全を確保します。

中3まで医療費無料化!

給食費の負担軽減と併せ、子育て世代を応援します。通学路の危険箇所を改善し、子供たちの安全を図ります。

ゴミ袋の値下げ!

ゴミ袋の大きさや価格を見直し、暮らしの負担軽減とサービスの向上を目指します。

前山武市議会議員 おがわ かずま

小川一馬

後援会
だより

No.10



このままで大丈夫？ 山武市の医療

椎名市長は旧成東病院を取り壊し、別の場所に病院を建設しようとしています。

- ・私たちの**血税が100億円以上**使われようとしています。
- ・椎名市長が県の医療政策に反対しているため、**新病院建設なら費用は全て山武市で負担!!**
- ・さんむ医療センターの**医師不足の問題は、椎名市政8年間で全く解消されていません。**
- ・椎名市長は**さんむ医療センター移転・新築の考えを、これまでほとんど市民に説明していません。**

椎名市長は「東千葉メディカルセンター」への参加を拒否しています。

- ・椎名市長は、**年245万円の3次救急負担金を拒否!!**
- ・椎名市長が参加を拒否しているため、**山武市民の窓口負担は2割増**になります。
- ・**山武市民の救急受け入れの優先順位が低くされる心配**があります。



山武郡市唯一の救命救急病院「東千葉メディカルセンター」(平成26年4月開業予定)

小川一馬は、**さんむ医療センターの充実と東千葉メディカルセンター参加**で、山武市の医療不安解消に努めます。

新しい扉を開くために

久力 祐子

今私達は2つの扉の前にいます。
・医療難民となり、旧態依然とした風景が待つ「古い扉」

・「住みたいまちナンバーワン」の旗を掲げ、理想の山武市を作るために命を捧げて走るリーダーのもと輝く明日の風景が広がる「新しい扉」

私はこの「新しい扉」をぜひ開けてみたいと願っています。その理由を私なりに挙げてみたいと思います。
義を見てせざるは

一馬さんは現役の市議会議員時代からほぼ毎回質問に立っていました。山武市を思う熱い心があったからこそと思います。そしてその長い議員生活から山武市の内情を深く知り、また民意がまったく反映されない現状に大変な危機感を持ち、今回こうして議員の椅子を捨ててまで市長選に名乗りを上げてくれました。そこには名誉欲など露程もなく、自分の人生を山武市民の為に使いたいという「サムライ」の志を見る思いがします。

常に学び己を変革

私が一馬さんと知り合って二十年。この間自分は全く思考的にも成長してないと思うのに、一馬さんは大きく成長したと思います。いい意味で全く違う人になってしまいました。

情熱を持っているのは変わりませんが、どちらかと言うと猪突猛進型だったのに、今は熟慮黙考。人の話に深く耳を傾け、相手の立場に立って最も良い答えを探し出す。理想的な思考力は見習うところばかりです。

強靱な体力と精神力

未曾有の大震災でご自身の旅館も壊滅的な被害をこうむったにもかかわらず、不眠不休での復興作業はすごかった。私たちが作業をしている傍らで猛スピードで仕事をこなす姿は千手観音を思い起すほどでした。

やはり大きな目標を持ち、達成できる人は時間の使い方と体力、気力がまるで違います。この震災が一馬さんにさらに困難に打ち勝つ強靱な精神を植えつけたのは間違いありません。

今後も山武市に災害がふりかかっても自身の経験から最善を尽くし、復興にあたってくれるに違いありません。

ウラ・オモテのない性格

この二十年、良い時も悪い時も全く変わらず接してくれているという心から感謝するところです。人に対して全く色メガネで見ることが無く、損・得など全然関係なく付き合ってくれる「人物本位」なのが小川一馬という人です。

人一倍強い郷土愛

「住みたいまちナンバーワン」にも込められているとおり、一馬さんは山武市を誇りに思い、市民全員が「山武市民で良かった！」と思える街づくりを念頭においています。

地域による差別が無く、みなが喜ぶサービス：例えばゴミ袋の値下げや子供たちの医療・給食費関係の負担軽減、橋の改修や子供達のための歩道整備など。億単位の「ハコモノ病院」よりも市民一人ひとりの笑顔を中心から望んでいます。

今が山武市にとって、とても重要な分かれ道です。

私は迷わず「新しい扉」を開けたと思います。